



松本糸魚川連絡道路ニュース Vol.24

地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備

～長野県大町建設事務所より継続的に情報を発信します～

大町市街地区間では、幅の細いルート帯（100～200m）の選定に向けた調査検討を進めており、今後候補となり得る複数の案をお示しする予定です。今回は、その複数のルート帯案をどのように決めるのかをご説明します。

1

道路の設計条件の決定

予想される利用台数や通過する地域の地形などから設計速度を決め、設計速度に合わせたカーブの大きさ、勾配などの設計条件が決まります。

松本糸魚川連絡道路の設計速度は、地域高規格道路として整備することから60km/hであり、カーブの大きさは半径200m以上、勾配は5%以下となります。

2

コントロールポイントの抽出

地形図などを用いて、道路の建設を避けることが望ましいポイント（コントロールポイント）を抽出します。具体的には、集落、神社・仏閣、学校、貴重動植物の生息・生育区域、天然記念物、重要な文化財、広い川、地盤の悪い場所などです。

3

ルートの選定

起点から終点を結び、地形図上よりコントロールポイントを確認し、曲線、勾配などの設計条件をチェックしながら考えられる複数のルートを決めていきます。

■問い合わせ 大町建設事務所整備・建築課計画調査係 Tel.23-6534(直通) Fax 23-6532
Eメール omachiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

雪道も安心！大町⇄長野は 電鳥ライナー で!!

●冬期運行期間 12月1日～立山黒部アルペンルート開通日の前日まで

●4枚回数券・往復割引・障がい者割引などがあります

★お問い合わせ先 アルピコタクシー(株)大町支社

電話番号 23-2323

